

## パネルディスカッション 8 : 認知症高齢者の入院時・退院時支援の現状と 課題について

<b>演題名</b>	在宅療養支援からの視点～新たな地平をめざして～
------------	-------------------------

### 概要

演者は東京都大田区で約 10 年間の認知症患者の在宅医療支援に従事し、その間さまざまな健忘症候群の患者及び、その家族と出会ってきた。その中で演者は、在宅医療のミッション・ビジョン・ゴールを次のように定義する。Ⅰ. 在宅医療のミッションは、多様な終末期の過ごし方について患者・家族のサポーターとなること。Ⅱ. 在宅医療のヴィジョンは“よくある病気”を生活の場でみつけ、患者・家族をサポートすること。必要に応じ専門医療機関を紹介し、専門医の診断・治療のメドがつけば、在宅療養支援を再開すること。Ⅲ. 在宅医療のゴールは“生の重さ”、“死の重さ”を考え感じながら「医療と介護のフロント・ライン」に立っているという意識を患者・家族と共有すること。

在宅医療現場に求められることを 10 項目であげるならば、①在宅医療現場における診断推論②在宅医療現場における薬物最適使用③在宅医療現場における多職種協働④在宅医療診療所院長の管理会計術⑤在宅医療診療所院長のための療養担当規則の理解促進・個別指導対策⑥在宅医療診療所院長のための CRM (Customer Relationship Management)/TIPS 集⑦地域の診療所・病院との連携⑧診療所・病院との共同研究⑨「地域包括ケア」実施のための戦略立案補助ツール開発⑩災害時における情報バックアップなどの危機管理、である。この流れの中での病診連携のあり方は新しい局面を迎えようとしている。これらの現状と課題を実際の症例をもとに提示したい。